

大館北秋田えだまめメガ団地協議会（秋田県大館市、北秋田市）

R5補正
R6当初

08

背景・課題

本地域では、大規模農業法人を主体に園芸メガ団地整備事業を活用し、えだまめの作付拡大が進んできた。

近年は、生産コストの増加や労働力の不足等が課題となっていることから、化学農薬と化成肥料の低減と省力化の両立を図るため、技術検証に取り組み、成果を地域に広く普及させる。

成果目標

- 有機質資材（緑肥・汚泥肥料）の施用
- バイオ炭の農地施用
- 自動操舵システム付きトラクターによる畝立・播種機の活用
- 自動操舵システム付き中耕培土機の活用
- 自動操舵システム付き除草カルチベーターの検証

主な取組内容

- 有機質資材（緑肥・汚泥肥料）を施用し、化成肥料の使用量を削減したほ場では、慣行体系と同等の生産量および品質を確保できた。
- バイオ炭の農地施用による生育及び収量への悪影響は確認されなかった。
- 自動操舵システムの活用により、慣行の播種体系と比較して、直線的な畝を施工することができたとともに、作業時間を28%短縮することができた。
- 除草カルチベーターの活用により、慣行体系よりも作業時間を約8%削減できた。また、今後は除草剤の使用回数低減の検討を行う。

①有機質資材（緑肥）の活用による 化学肥料の使用量削減

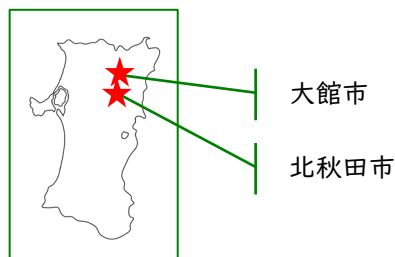


化成肥料主体の施肥体系から、全量(N成分基準)を緑肥に置き換えた施肥体系の実施により、生産量は慣行比93%と同程度の水準を確保する事が可能。

②自動操舵システム付きトラクターによる 除草カルチベーターの検証



除草カルチベーターの活用により、慣行体系よりも作業時間を約8%削減。また、機械除草により、除草剤の使用回数を低減することも可能。



大館市

北秋田市

構 成 員

えだまめ大規模作付法人（5法人）、大館市、北秋田市、秋田県北秋田地域振興局、農林部農業振興普及課

品 目

えだまめ

普及に向けた取組

現地検討会の開催により、各技術の普及に向けて啓発を行った。今後は、本事業での検証結果を栽培マニュアルに反映させるとともに、経営評価の実施や既存体系との組み合わせについて検討を行い、地域農業者への技術定着及び生産の安定化に向けた取組を実施する。

問い合わせ先

秋田県北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
TEL：0186-62-3950